

「イクケン香川」 たまご育て専業

地域でたまご応援講座「多世代交流 木育キャラバン」開催告書

核家族化や地域のつながりの希薄化が叫ばれる中、新型コロナウイルス感染拡大により、ますます人の関わりを持つ機会が激減し、子育て家庭が孤立しやすい状況になっている。さまざまな世代が関われる機会として、また、木のおもちゃを通し、子どもへの接し方やおもちゃの扱い方などの知識を学ぶ機会として、子育て家庭と地域の方が時間と場所、体験を共有することを目的として開催。

【日 時】 7月 8日（木）（高松市内警報発令ため中止）

9日（金） 10日（土）

ともに 10:30～12:00 / 13:00～14:30

【場 所】 高松市丸亀町レッツホール カルチャールーム

【参加者】 7月 9日（金） 82名 地域の方延べ 19名

10日（土） 133名 地域の方延べ 14名

合計 215名 地域の方延べ 33名



新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、午前、午後に時間を区切り、事前予約制で人数制限をしておの開催となりましたが、県内各所から、多くの方が参加してくださいました。

1日目は警報発令のため、やむなく中止だったものの、2日目、3日目ともに、開始時間より早くから開場を待つ姿も多く見受けられ、今回のイベントを楽しみにいただいているようでした。

■7月9日（金）

午前中は年齢的にやや大きいお子さん、午後は赤ちゃんの参加が多くなりました。今回は地域のボランティアさんによるスペシャルタイムを用意しました。午前中は読み聞かせ。優しい声を聞きながら、絵本の世界に入りこみ、親子ともに温かい落ち着いた気持ちになりました。また、空き容器にビーズと水を使った工作を教えていただきました。容器のつなぎ方に一工夫。これなら子どもにも安全と、おうちでの遊びにつながるヒントをいただきました。

午後は、手形・足形アートのワークショップ。キットパスを使ったきれいなアートができました。



■7月10日（土）

土曜日ということで家族連れが多く、満員御礼。お父さんもお母さんもお子さんと一緒に、折り紙の金魚で、夏らしい飾り作りのワークショップを楽しんだり、木のおもちゃで大作を作ったり…。

両日とも、オレンジ色のエプロンを着けた地域のボランティアさんに、遊びのプロとして親子におもちゃの遊び方を教えていただくと同時に、親子と一緒に遊んだり、声かけをしたりしていただきました。年齢を超えた関わりがあちこちで見られ、温かい空気に満ちていました。

家庭ではなかなか触れることのない木のおもちゃをたくさん使って遊んだり、小さなたった一つの木のおもちゃのぬくもりに癒されたり、大人も子どもも年齢を問わず楽しく、満足していただけたようです。

